



おのまち

議会だより

167号

令和3年
8月11日発行



あじさいの会

定例会6月会議

4 常任委員会審査結果

14 議会活動トピックス

7 町政を問う!6人が一般質問

涼しげな浴衣姿での大正琴の演奏

定例会6月会議

6月9日～14日



▲本会議の様子

令和3年小野町議会定例会6月会議は、6月9日から14日まで6日間の日程で開かれました。

会議では、令和3年度一般会計補正予算、条例の一部改正など9件の町長提出議案と、議員提出議案6件が提出され、議案をすべて原案のとおり可決したほか、予算の繰越明許費繰越の報告がありました。

また、6名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをたえました。

8698万3千円追加する補正予算を可決

一般会計の歳入歳出それぞれ8698万3千円増額し、総額57億4246万2千円とするものです。

【主な補正内容】

◆歳入

項目	補正額
新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金	2105万円
新型コロナウイルスワクチン接種 体制確保事業費補助金	2292万円
保育所等整備交付金	320万円
子育て世帯生活支援特別給付金 給付事業費補助金	940万円
福島県ICT推進市町村支援 事業費補助金	68万円
イノシシ被害防止総合対策 実証事業補助金	1200万円

◆歳出

※1万円未満切り捨て

項目	補正額
庁舎外公共施設用 サーマルカメラ購入費	220万円
子育て世帯生活支援特別給付金 給付事業	940万円
認可保育所等整備費補助金	360万円
新型コロナウイルスワクチン接種 業務委託料	2292万円
福島県イノシシ被害防止総合対策 実証事業委託料	1200万円
多目的研修集会施設外衛生環境設備 改修工事	1500万円
文化の館・町民体育館施設外 衛生環境設備改修工事	1900万円

条例の一部改正

条例4件が一部改正されました。主な内容は次のとおりです。

◆小野町税条例等の一部を改正

地方税法等の一部改正により所要の改正を行うものです。

- ① 町民税の均等割及び所得割の非課税限度額の算定の基礎となる扶養親族のうち、国外に住む親族の内容等の見直し。
- ② 町民税の寄付控除対象から特定公益増進法人に対する寄付金のうち、出資目的の寄付金は除外する。
- ③ 特定一般用医薬品等購入費の医療費控除の特例について、対象品目を見直し、適用期限を令和9年度分の個人町民税まで延長する。

◆小野町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正

固定資産の価格に係る不服審査の手続きの利便性を図るため、審査申出書及び口述書への押印を不要とする改正を行うものです。

◆小野町国民健康保険条例の一部を改正

新型コロナウイルス感染症の定義が改められたことから、小野町国民健康保険条例に定める傷病手当金の支給対象となる傷病名を同様に改めるものです。

◆小野町国民健康保険税条例の一部を改正

小野町国民健康保険税の税率を引き上げるとともに、医療分に係る均等割、平等割それぞれの軽減額の改正を行うものです。

改正内容として、所得割の税率が(医療分100分の6・40から7・20、介護分100分の2・04から2・20)引上げとなり、医療分の均等割が22,600円から23,400円、平等割が16,400円から16,800円それぞれ引上げとなります。

契約締結

購入の予定価格が700万円以上の契約案件については次の3件となります。

◆小野町クライアントパソコン等

更新業務契約の締結

契約先 有限会社 印南電気

契約額 10868000円

◆小野町小野小学校蛇口等

自動水栓購入契約の締結

契約先 株式会社 大和田工務店

契約額 9678900円

◆小野町立小中学校電子黒板映写兼用

黒板等購入契約の締結

契約先 丸三株式会社

契約額 20636000円

報告事項

予算の繰越明許費繰越について、町長から報告がありました。

○令和2年度小野町一般会計予算繰越明許費繰越の報告について

人事案件

副町長の選任に同意

副町長に、菅野望氏を選任することに全員賛成で同意しました。就任は7月1日からです。



菅野 望氏

議員提出議案

6件の議員提出議案を可決しました。

◆小野町議会会議規則の一部改正

議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活躍しやすい環境整備として出産、育児、介護などを議会の欠席事由にするものです。また、議会への請願手続きにおける請願者の利便性の向上を図るため押印の義務付けを見直す改正をするものです。

議案提出者：吉田 康市 議員

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

議案提出者：渡邊 直忠 議員

◆意見書の提出

○地方財政の充実・強化を求める意見書

議案提出者：會田 百合子 議員

意見書提出先：内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣(地方創生規制改革担当)、内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

議案提出者：緑川 久子 議員

意見書提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長

○被災児童生徒就学支援等事業の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

議案提出者：先崎 勝馬 議員

意見書提出先：復興大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

○新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める意見書

議案提出者：中野 孝一 議員

意見書提出先：農林水産大臣

ここが聞きたい 質疑

常任委員会審査

予算決算常任委員会

健康福祉課

問 新型コロナウイルスワクチン接種率当初見込みに対する実施状況は。

答 事前アンケート等から7割程度を見込んでいたが、実績から7割5分程度の接種率が見込まれる。ワクチンの数もある程度確保され、予算も不足が生じないと考えている。



問 ワクチン接種の副反応の状況は。

答 これまでにワクチンを原因としたアナフィラキシーショックはそれほど見られていない。これまでの接種の状況を見ても、はれや熱が長続きしたものは少ない。ただし、若い女性等の副反応が強く出やすい傾向があることから今後も注意が必要である。

産業振興課

問 イノシシ被害防止総合対策事業は、モデル地区に限らず広範囲で実施してはどうか。

答 実証事業の結果を踏まえ、鳥獣交付金等の活用も含め様々なイノシシ対策を町内各地域に展開していきたい。

問 イノシシ対策は、田村市、三春町等広域的な取り組みを考えてはどうか。

答 広域的な取組は必要であるため、今後協議し検討したい。

問 イノシシ被害防止総合対策事業の委託先は。

答 県内に業者がなく、ICTカメラなどを使った事業専門の業者に委託予定である。



総務文教常任委員会

町民生活課

問 小野町国民健康保険条例の一部が改正されたが、新型コロナウイルス感染症のほかに主な感染症はなにか。

答 主な感染症として、新型インフルエンザ関係が列挙されている。

問 新型コロナウイルス感染症が傷病手当金の対象となるが、小野町の想定人数は。

答 これまでの該当者はいないが、当初において1名、10日分費用を計上している。

問 傷病手当金支給の国民健康保険への影響は。

答 後日、国から補填されるため、国保税への影響はない。

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。
 ・田村弘文議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	會田百合子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬	渡邊直忠	会田明生	吉田康市	宗像芳男	水野正廣	久野 峻	竹川里志
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回会議 5月	町長	令和3年度小野町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和3年度小野町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定例会6月会議	町長	小野町税条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町クライアントパソコン等更新業務契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町立小野小学校蛇口等自動水栓購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町立小中学校電子黒板映写兼用黒板等購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町副町長の選任につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町議会会議規則の一部を改正する規則について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	地方財政の充実・強化を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	新型コロナ禍による米危機の改善を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第1回会議 7月	町長	町有財産の無償貸付について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		小野町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。
 ※個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

5月第1回会議開催

5月17日に令和3年小野町議会5月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

◆補正予算

令和3年度小野町一般会計予算において、新型コロナウイルス感染症対策に係る各種事業の費用1億1347万9千円を増額するものです。

【主な補正内容】

一般会計

※1万円未満切り捨て

◆歳入

項目	補正額
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	10496万円
疾病予防対策事業費等補助金	60万円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金	1827万円
学校臨時休業対策費補助金	100万円
被災住宅支援補助金	408万円
基金繰入金	▲1543万円

◆歳出

項目	補正額
育児世帯支援給付金	100万円
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	1827万円
新型コロナウイルス感染症対策事業	1098万円
プレミアム商品券発行事業補助金	480万円
事業継続緊急支援給付金	3120万円
商工会支援事業補助金	190万円
福島県沖地震被災住宅修理支援事業支援金・町災害見舞金	484万円
小学校感染症対策経費・備品購入費 (消毒液・自動手指消毒器・自動水栓、電子黒板等)	3466万円
中学校備品購入費用(電子黒板・プロジェクター・エアコン)	583万円

7月第1回会議開催

7月21日に令和3年小野町議会7月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

◆町有財産の無償貸付について

旧飯豊小学校の敷地と校舎建物等について、農業の6次産業化を通しての地方創生、スポーツと体験型観光による交流人口の増を図ることを目的として利用する法人に無償で貸付するものです。

所在地：小野町大字飯豊字

浮内46番地

貸付先：一般社団法人

あまのしたワーカーズ

貸付面積：12480㎡

貸付期間：契約締結の日から

3年間

◆教育長の任命に同意

教育委員会教育長について、有賀仁一氏を任命することに全員賛成で同意しました。

任期は令和3年8月1日から令和6年7月31日までの3年間となります。



ありが じんいち
有賀 仁一氏



町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します。
「会議録」をご覧ください。(8月下旬掲載予定)

緑川 久子 議員 8ページ

- 1 小・中学校の学校給食費について
 - ◆ 学校給食費の一部助成と無償化の推進について
- 2 健康促進と6次産業化の視点に立った「発酵のまちづくり」の取り組みについて
 - ◆ 発酵食品(酒、みそ)の製造、コロナ禍での交流・視察・PR中心の事業計画の見直しについて
 - ◆ 事業の主体となる多様な人材、担い手といった組織体制の構築について
 - ◆ 6次産業化の推進に向けての国や県のサポート体制の取り組みについて

会田 明生 議員 9ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - ◆ 地方創生臨時交付金を活用した事業について
- 2 産業振興について
 - ◆ 林業専用道路完成後の森林整備について
 - ◆ 降霜被害への対応について
- 3 子育て支援について
 - ◆ 認定こども園の開園スケジュールについて
- 4 町長の政治姿勢について
 - ◆ 公約実現に向けた取り組み方針について

渡邊 直忠 議員 10ページ

- 1 持続可能なまちづくりについて
 - ◆ 活力ある持続可能なまちづくりについて
 - ◆ 制定されている条例等運用とレファレンスについて
 - ◆ 来て ふくしま住宅取得支援事業について
 - ◆ 小野町地域新エネルギービジョンについて
 - ◆ 組織再編改革・デジタル化について
 - ◆ 小野町の当初予算アップ施策と見える化について
 - ◆ 小野町財務規則改正による地元発注率向上について
 - ◆ 町民の飲用水・安全と確保について
 - ◆ ゆ〜ゆ〜こまち改善事業について
 - ◆ 地方創生の推進と連携事業について
 - ◆ 第5次社会資本整備重点計画について

先崎 勝馬 議員 11ページ

- 1 町政(所信表明)について
 - ◆ 地域づくり協議会制度について
 - ◆ 健康づくりについて
 - ◆ 人材の育成について
 - ◆ 産業の更なる振興・発展について
- 2 町政の人事について
 - ◆ 副町長・教育長の人事について
- 3 今後の災害対策について
 - ◆ 水害について

宗像 芳男 議員 12ページ

- 1 一般行政について
 - ◆ 支えあえる地域づくりについて
 - ◆ 役場庁舎建設について
- 2 教育行政について
 - ◆ 人づくりについて
 - ◆ 子育て支援について
 - ◆ 小野小学校校舎新築について
 - ◆ 県立小野高等学校の存続について
- 3 産業振興について
 - ◆ 農業振興について
 - ◆ サテライトオフィスについて
 - ◆ 道の駅、インター周辺開発について
- 4 健康福祉行政について
 - ◆ 健康づくり推進事業について
 - ◆ 町民健康まつりについて

會田 百合子 議員 13ページ

- 1 ゴミのポイ捨てについて
 - ◆ 現状と対策について
- 2 指定ゴミ袋について
 - ◆ ゴミ袋の配布について



問

小・中学校の給食費の一部助成と無償化の推進は

答

町全体の財政状況の勘案し教育委員会との連携を図り検討する



緑川 久子 議員

問 県内59市町村の内37の市町村において、給食費の無償化や半額、一部補助などの助成が行われており、保護者の経済的負担の軽減、定住・転入などを目的に子育て支援策として実施する自治体が広がりを見せています。給食費の軽減は力強い子育て支援であり、少子化、人口対策の具体的な施策として、ぜひ取り組んでいただきたい支援策と考えます。町の財源確保がなかなか厳しい事情を踏まえまして、半額もし

くは一部助成の方向で検討していただけないか伺います。

町長 経済的理由により支払いが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学援助制度等について周知し、制度活用により全額補助を受けている方がいます。また、児童手当からの控除の導入により給食費納入の負担軽減を図っています。子育て支援、少子化対策とともに、将来のまちづくりを担う人材育成の観点からも

問

発酵食品の製造、コロナ禍での交流・視察・PR中心の事業計画の見直しは

答

健康増進と農業や産業の活性化を図り、発酵食品を通じた健康づくりに取り組む

重要であると認識しています。県内においても給食費の一部助成や無償化の自治体は多くなっておりますので、町全体の財政状況を勘案し、町と教育委員会連携を図りながら給食費の助成について検討します。



6次化による発酵食品の製造を目指し、町民の健康を促進する。産業の6次化と発酵のまちづくり事業がスタートしました。外部団体との交流が中心の町の事業展開を、今後のウイズコロナ時代に対応した事業内容に見直し、町民が主体となる地域に根付いた事業計画の検討が必要ではないでしょうか。今後の方針を伺います。

町長 本事業については、健康増進と農業や産業の活性化を図ることを目的とし、現在、日本酒やオリシナ

ルみそ等の製造販売を目指し、取組んでいます。新たな担い手となる多様な人材の加入や地域内外の異業種交流、食に関わるあらゆる関係者との連携により、地域ぐるみで事業に取り組み相乗効果を高めるために、交流や研修等を実施しています。健康は食事からという視点からも、将来につながるまちづくり実現のために、随時見直しを行いながら発酵食品を通じた健康づくりに取り組んで参ります。



会田 明生 議員

問

林業専用道路完成後の森林整備計画は

答

計画的に造林や間伐などの森林整備に対する支援等の実施

問 最近、新聞等でウッドショックという言葉を見聞きします。世界的な木材の供給不足により、木材価格の高騰といった現象が起こっているようです。

当町においては、持続可能な林業経営の実現に向けて、林業専用道路の整備が進んでおり、既に整備が完了した路線もあります。林業専用道路整備事業の要件には、利用区域内の民有林において、間伐を含む森林整備を行うこととなっ

ていますが、林道完成後の森林整備計画はどのようなになっているのかお伺いします。

町長 県が主体となり実施する路線も含めて林業専用道路完成に向け事業を進めながら、すでに完成している道路沿線の森林について、ふくしま森林再生事業による空間線量の調査や、所有者の同意に基づく間伐などの年度別計画を策定することとしております。また、林業専用道路沿線以外の民有林についても森林経営管理制度を活用する等、引き続き新たな林道整備も含め、計画的に造林や間伐など森林整備に対する支援等を行うてまいります。

問

認定こども園の開園に向けたスケジュールは

答

園舎は12月末に完成予定 広報紙等にて随時周知を図る

問 認定こども園は、令和4年4月の開園に向けて園舎等の建設が進められているところですか。

開園に向けては、保育士等の確保をはじめ、様々な手続き・調整が必要と思います。当町の認定こども園は、公私連携幼保連携型認定こども園となりまして、これまでの「公設公営」から「民設民営」に移行することから、住民の皆さんも高い関心をお持ちだと思いますが、開園までのスケジュールはどのようなになっているのかお伺いします。

町長 認定こども園については、設置・運営事業者「社会福祉法人啓誠福祉会」において園舎の建設を進めております。園舎の完成は本年12月末を見込んでおり、その後に駐車場などの外構工事、備品の搬入などが進められる予定となっております。職員の募集に関しまして、現在町の保育園や幼稚園に勤務する会計年度任用職員を対象とした募集を先行して行っており、会計年度任用職員の採用者確定後には、ハローワーク及び募集チラシ等による公募を実施するとの報告を受けております。また、園児の募集については、9月頃に継続児を対象とした募集を開始し、その後、新入園児の募集を行うこととなっております。スケジュールや園舎建設の状況、園児の募集、運営に関する情報などについては、随時広報紙や園だよりなどを通して周知を図ってまいります。



問

町の重要課題である地方創生の推進と連携事業に対する見解は

答

地域おこし協力隊制度の活用を中心に



渡邊 直忠 議員

問

今般の新型コロナウイルス感染症が都市部を中心に拡大したことで、地方への移住や就業に対する国民の関心が高まっております。小野町の魅力を高め町への人の流れを創出する取り組みを一層進めるべきです。

国は人の流れの創出として、都市部での密な生活を回避するためにこの機を捉えた地方回帰を実現すべく、自治体の意欲的な取り組みを支援しています。町の対応、取り組み策はあるのか。町長の見解を伺

います。

町長

地域の活性化に大きく貢献できる地域おこし協力隊制度の活用を中心に進めて参りたいと考えております。積極的に地域おこしに取り組んでいただける人材を様々な方法により募集し、新たな視点から地域課題へ取り組んでいただくとともに、任期終了後も継続して定住していただけるよう積極的に支援して参りたいと考えております。

今後総合計画に基づ

く持続可能なまちづくりを進めていく中で、必要性などを勘案しながら、取り組めるものにつきましては検討をして参りたいと考えております。

問

第5次社会資本整備重点計画の立案と交付金活用についての見解は

答

合致する事業の検討を行い今後の事業の実施に当たっては交付金の積極的な活用を図る

問

第4次社会資本整備重点計画が終了し、同計画からの社会情勢の変化に対応するため、第5次社会資本整備重点計画に則った「市町村等が行なう地域の歴史・文化・自然環境等の特色を活かした個性溢れるまちづくり事業」があります。同計画立案と社会資本整備総合交付金を積極的に活用してはどうか、町長の見解を伺います。

な課題と考えておりますので、持続可能なまちづくり実現に当たり、事業内容、要件等の精査を行い、合致する事業について検討して参ります。なお、社会資本整備総合交付金については、これまで町道整備、橋梁

町長 活力と魅力にあふれ、暮らす人にも快適なまちづくりを推進することは重要





先崎 勝馬 議員

問

地域づくり協議会制度導入についての考えは

答

「自ら考え、自ら行動すること」を目的とした組織として設置が必要

問 基本理念として「支え合える地域づくり」とのこと、地域づくり協議会制度を導入する考えが示され、地域防災計画の策定、高齢者の生きがいづくりと安否確認、通学児童・生徒の見守り、地域環境美化などの活動例が挙げられております。これらはすでに行われている施策であり、改めて協議会を設置しなくても地元に通じている区長会との会合を多くすべきと考えますが、町長の考えを伺います。

町長 行政区長会との連携強化も一つではあります。更には行政区の枠を超えた新たな枠組みで、自分たちの地域の将来のことについて、地域住民やその地域の各種団体が連携・協力し、地域の課題解決に向けて自主的に活動していくことが重要であります。このため、地域の方々が主体となつて、自ら考え、自ら行動することを目的とする組織として、地域づくり協議会の設置が必要であると強く感じております。

地域づくり協議会設置の進め方など詳細につきましては、他の自治体の先進事例を参考にしながら



ら今後検討して参りますが、設置される協議会が形骸化することなく持続的に活動されるよう、町はその活動を側面的に支援する考えであります。

問

河川の土砂堆積に伴う今後の災害対策について

答

防災・減災を図るため 県への要望を行つていく

問 当町で一番心配なのは、水害です。河川の中州の土砂は、蓄積されると本来の堤防の機能が果たせなくなり。県管轄であることは十分承知していますが、特に河川の土砂の目につく場所は早急に土砂除去を要望すべきと思っております。町長の見解をお伺いします。



町の要望も踏まえ堆積土砂の除去や支障木伐採を実施しております。今後、当町における建設行政に係る県関係機関との定期的な意見交換の場でも、防災・減災を図るため引き続き強く要望を行つて参ります。

町長 国においては防災・減災・国土強靱化に関する大幅な予算が計上されており、町内全域の県管理河川においても町が

問

役場庁舎建設の進捗状況は

答

総合的に判断の上、早い機会に整備計画を示したい



宗像 芳男 議員

問 役場庁舎建設に関して、アンケートや建設候補地案として5か所ほど示されましたが進捗状況はどうなっているのでしょうか。今やるべきことは、町長の強いリーダーシップによって、時期、場所等を明確にすべきであり、町が計画案を出さなければ協議会を設置してもなかなか結論が出ないのではないかと思いますが、町長の見解を伺います。

町長 新庁舎を整備するために最も優先

すべき内容は、行政機能を保持しながら充足させる機能についてであります。小野町公共施設等整備検討委員からご提言ありました保健センターや交流複合施設なども、充足させる機能の一つではあります。どのような機能を充足すべきか検討し、機能を生かせる敷地面積や町民にとって利便性のある場所などを考慮しなければならぬと考えております。

様々なご意見を踏まえながら総合的に判断の上、できる限り早い機会に整備計画をお示しして参ります。

再質問 国土強靱化という国の方針も鑑み、国規模の総合防災センター立地に向け積極的に取り組み、そ



の施設に町の施設も取り入れることができるか町長の考えを伺います。

町長 防災センターの機能を含めた役場庁舎ということで理解し、検討させていただきたいと思っております。

問

道の駅、インター周辺開発についての構想は

答

基本計画を策定し、様々な角度から検討し進めたい

問 以前より検討されている道の駅の設置とインターチェンジ周辺の開発について、いかなる構想をお持ちか町長の考えを伺います。

ためにも、道の駅整備を含む現在の構想の見直しを行い、基本計画を策定し、様々な角度から検討し進めて参ります。

町長 ポストコロナ社会やデジタル社会における新しい価値観を取り入れた形で、地域資源である農業、観光、交通、商工業の充実・連携・相乗効果を図り、地域の賑わいを生み出すための拠点整備を行って参りたいと考えております。その





會田 百合子 議員

問

ゴミのポイ捨てに関する現状と対策は

答

ポイ捨てが減らない現状に町が一丸となって解決を図っていく

問 ごみのポイ捨て禁止の看板を立ててありますが、国道でのごみが増える目につきます。朝の散歩時にごみ拾いをする町民の方もおり、私も歩いてみると、30分もしないで45リットルの袋がいっぱいになりました。捨てる人の心を入れ替えてもらわなければ減らないことだとは思いますが、町が捉えている現状と対策について伺います。

町長 町では、広報紙等による周知啓発を行い、ポイ捨てされ

やすい箇所に注意喚起のための看板設置や職員による不法投棄パトロールを定期的に実施しております。また、各行政区のポイ捨て等防止指導員や地域住民の皆さんからの通報に応じ、回収作業に向くなどの対応を行っております。しかし、これには限界があり、ごみを拾っても1週間もするとまた、ごみが散乱しているというのが現状となっております。



きれいな地域をつくるためには、町が一丸となって解決を図っていかねばならない問題であると考えておりますので、町民の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

問

指定ゴミ袋を無料で配布できないか

答

コスト意識を持ち、ごみの排出抑制を図る観点から有料としている

問 町指定のごみ袋を購入していますが、

分別の種類が多く物価上昇などもあり家計の負担になっていきます。雑紙用の紙袋が無料配布されたように、指定ごみ袋を年1回でも無料で配布することはできないか伺います。

町長 指定のごみ袋につきましては、実費負担額にごみ処理手数料を加えた額で販売しています。ごみ処理にかかる費用としては、田村広域行政組合への分担金額と、町で行っているごみ収集運搬費用を合わせ、年

間約1億8000万円です。また、指定ごみ袋の販売によるごみ処理手数料の収入は、昨年度実績で356万円であり、ごみ処理経費の約2%となっております。

指定ごみ袋は町民の皆さまに購入していただき、ごみの排出量に応じて一定のご負担をいただくことで、コスト意識を持つていただくとともに、ごみの排出抑制を図るといった観点から有料としております。ごみの減量化を推進するため、どうかご理解とご協力をお願いします。



タブレット端末の導入



第1回タブレット端末操作研修会の実施

タブレット端末導入による議会の運営に向け、株式会社ドコモCS東北より講師を迎え、全議員を対象とした、研修会を実施いたしました。

議会においてタブレット端末を導入することは、会議資料の印刷や配布などの準備作業の軽減による事務の効率化を図ることやペーパーレス化などによる経費の節減が見込まれます。

今回は、第1回目の研修会として主に操作に関する研修会を行いました。



講師による説明



キーボード操作の練習



タブレットを利用した写真撮影

議会活動日誌

5月

- 7日 新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 10日 月例全員協議会
- 14日 小野町商工会通常総代会
- 17日 議会運営委員会／全員協議会／小野町議会5月第1回会議
- 19日～20日 全国町村議会議長会正副議長研修(リモート)
- 23日 高柴山山開き安全祈願祭(神事のみ)
- 25日 例月出納検査
- 26日 小野町民生児童委員協議会総会

6月

- 3日 福島県町村議会議長会定期総会
- 4日 議会運営委員会／全員協議会
- 5日 矢大臣山開き安全祈願祭(神事のみ)
- 9日～14日 小野町議会定例会6月会議
- 14日 議会運営委員会／全員協議会／月例全員協議会
- 16日 小野町観光協会総会
- 17日 小野町シルバー人材センター定時総会
- 23日 田村広域行政組合議会(第1回臨時会)
- 24日 異業種交流会定期総会
- 25日 例月出納検査

7月

- 7日 青少年育成町民会議総会／小野町交通対策協議会
- 8日 公立小野町地方総合病院組合議会
- 13日 月例全員協議会／タブレット端末操作講習会
議会広報編集委員会
- 14日 郡山地方広域消防組合議会
- 16日 更生保護女性会朝のあいさつ運動(小野中)
- 21日 議会運営委員会／全員協議会
小野町議会7月第1回会議／議会運営委員会
- 26日 小町ふれあいフェスタ実行委員会
- 27日 例月出納検査
- 27日～29日 決算審査(現地調査)

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

定例会9月会議は

9月2日(木)から開会します。

一般質問は9月3日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています。

- 新型コロナウイルス感染症対策として議場の傍聴席の間隔を広げるため、座席数に限りがありますので、ご理解とご協力をお願いします。
 - YouTubeによる動画配信をいたします。(本会議の一般質問のみ)
- ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

表紙の写真

中庭から聞こえる大正琴の澄んだ音色に、夏の暑さを忘れてしまおう。7月24日、こまち交流館を会場に行われた夕市(仁井町古宿主催)での「あじさいの会」のみなさんによる大正琴の演奏。

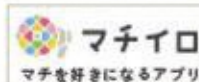
「コロナ禍で演奏機会も少ない中、丘灯至夫先生が作詞した「高原列車は行く」をはじめとする名曲の演奏に来場者も大喜び。一日も早く、安心して地域に人が集える日が来ることを願うばかりです。

スマホ用アプリ

マチイロで配信しています。

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」をお届けできるよう、スマートフォン用無料広報誌アプリ「マチイロ」で配信をしています。ぜひご覧下さい。

QRコードから
アクセス
してください



小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委員長	田村 弘文
副委員長	竹川 里志
委員	宗像 芳男
委員	会田 明生
委員	先崎 勝馬
委員	緑川 久子
委員	中野 孝一
委員	會田 百合子

皆様は、どのような小野町になつてほしいと思われていますか。「この町に住んで良かったと思うような町にしたいです」「このような言葉を聞いたことがある人は多いと思います。内容はどのようなものでしょうか。家族、福祉、環境、仕事、自然等ひとりひとりが違うものだと思います。しかし、ひとりひとりの小野町が、良くなつてほしいという思いは実現していくと思います。

小野町の未来は明るいと信じています。皆様のご意見をお聞かせください。

暑さ厳しいですが、どうぞお身体ご自愛ください。

小野町議会広報編集委員会 委員
會田 百合子

• あどがき •



この印刷物は、FSCの基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。

小野町議会

検索

小野町議会のホームページもご覧ください

令和3年
8月11日発行

167号

発行者／福島県小野町議会
編集／議会広報編集委員会

〒963-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館週2

☎0247-72-6930